

ご挨拶

謹啓

時下、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度私は、メタロミクスに関する国際会議の国際運営委員会議長である Ryszard Łobiński 教授のご要請を受け、第 8 回メタロミクスに関する国際会議 (The 8th International Symposium on Metallomics; ISM-8) の組織委員長に就任し、2022 年 7 月 11 日～14 日、金沢商工会議所会館にて開催を計画いたしております。ISM は、これまで 2 年に 1 度開催され、前回 2019 年にワルシャワで開催された後、2021 年に千葉で開催する予定でしたが、COVID-19 の影響により、1 年延期をいたしました。メタロミクスとは名古屋大学名誉教授の原口紘丞先生が提唱された学術用語で、生命と金属・元素に関わる学問領域を包括しています。原口先生が、第 1 回目の ISM を名古屋で開催して以来、ISM を 15 年ぶりに日本で開催することになりました。まさに日本で生まれた ISM が、今回再び日本に帰ってくるようになります。

ISM は、生命金属の計測・分析、基礎生命科学そして創薬や臨床までと幅広く生命と金属・元素に関わるトピックスを国内外の研究者が議論する場となっております。さらに今回の ISM-8 では、併せて企業のブース展示も行います。また、一部の発表はオンラインで行うハイブリッド形式も想定して準備を行っております。

本国際会議のトピックスとして、必須微量元素の恒常性の維持機構、金属含有酵素の機能とその異常による疾病機構の解明、金属含有医薬品の創製、栄養素の代謝機構、有害微量元素の環境汚染とその人への影響評価や毒性発現の機構、これらの基礎となる元素の分析法などが挙げられ、生命金属の研究に関連した広範な成果が発表されます。多岐にわたる分野の研究者が生命金属に関する最近の進歩を持ち寄り、意見を交換し、新たな着想に結び付くような実り多い学術集会とすることができるよう努力いたします。

本国際会議を通して、日本の研究者の当該分野におけるプレゼンスを高めることにより、これまで培ってきた世界の先導的立場を今後も維持したいと考えております。つきましては、本国際会議が円滑に行われますようご支援を賜れますことをお願い申し上げます。

謹白

令和 3 年 8 月吉日

ISM-8 組織委員長

千葉大学大学院薬学研究院 予防薬学研究室 教授

小椋康光

開催概要

1. 学術大会の名称

The 8th International Symposium on Metallomics (ISM-8)

2. 主催名称

ISM-8 組織委員会

3. 共催名称

文部科学省科学研究費助成事業 新学術領域研究「生命金属科学」

国立大学法人 千葉大学

4. 特別後援

プラズマ分光分析研究会

5. 後援学会（予定含む）

（公社）日本薬学会、（公社）日本生化学会、（公社）日本分析化学会、
（公社）日本化学会、（一社）日本衛生学会、（一社）日本毒性学会、
日本食品化学学会、日本ヒ素研究会、日本微量元素学会、日本法中毒学会、
Royal Society of Chemistry（英国王立化学会）、金沢コンベンションビューロー

6. 大会組織

名誉組織委員長

原口紘丞（名古屋大学）

組織委員長

小椋康光（千葉大院薬）

共同組織委員長

平田岳史（東大院理）

事務局長

沖野晃俊（東工大未来研）

会計責任者

鈴木紀行（千葉大院薬）

実行委員

稲垣和三（産総研）

梅村知也（東京薬大生命）

沖野晃俊（東工大未来研）

川原正博（武蔵野大薬）

菊地和也（阪大院工）

志村まり（国立国際医療研究センター）

平田岳史（東大院理）

保倉明子（東京電機大工）

安井裕之（京都薬大）

事務局（千葉大院薬）

福本泰典、田中佑樹

国際諮問委員（IAB）

国内組織委員（LOC）

別添 1

7. 開催日

2022年7月11日（月）－ 14日（木）

8. 開催場所

金沢商工会議所会館

9. 参加予定数

200名（うち海外参加者 約80名）

10. 大会概要

ウェルカムパーティー

特別講演

シンポジウム

一般講演（口頭発表）

一般講演（ポスター発表）

エキスカーション

バンケット

ポストカンファレンス：2022年7月15日（金）、東京大学

11. 事務局

千葉大学大学院 薬学研究院 予防薬学研究室

TEL/FAX：043-226-2945

E-mail: ism-8@chiba-u.jp

12. ホームページ

<http://www.ism-8.jp/>